

令和3年度 学校評価アンケート結果分析

岐阜清流高等特別支援学校

1 生徒対象アンケート結果

- 全21項目の質問に対し、A「よくあてはまる」とB「ややあてはまる」の肯定的な回答割合が80%以上の項目数は、19項目あった。(R2年度18項目)
- 肯定的な回答割合が、90%以上(高い項目)は、
 - 項目 1 「生徒一人一人のよさや可能性を伸ばせるような工夫をしている。」
 - 項目 8 「礼儀正しく、親切で親しみがもてる。」
 - 項目 10 「生徒たちの教育に熱心に取り組んでいる。」
 - 項目 13 「注意をするとき、生徒をたたいたりなぐったりしない。」
 - 項目 16 「学校は新型コロナウイルス感染症対策がしっかり行われている。」
 - 項目 18 「生徒の安全に気を配り、緊急時対応がしっかりしていて安心できる。」
 - 項目 21 「学校の先生から役に立つアドバイスをもらっている。」であった。(R2年度0項目)
- C「あまりあてはまらない」、D「まったくあてはまらない」といった否定的な回答割合が10%以上(やや高い)の項目数は、
 - 項目 3 「家の人がいろいろなことを相談しやすい雰囲気がある。」
 - 項目 12 「生徒の気持ちや様子をくわしく知っている。」
 - 項目 19 「毎日、学校に行くのが楽しい。」であった。(R2年度3項目)
- E「わからない」と回答した割合が15%以上の項目は、0であった。

2 保護者・学校運営協議会委員対象アンケート結果

- 全30項目の質問に対し、A「よくあてはまる」とB「ややあてはまる」の肯定的な回答割合が80%以上は、23項目あった。
(R2年度24項目)すべての項目で70%以上
- 肯定的な回答割合が、90%以上(高い項目)は、
 - 項目 1 「学校の教育目標や指導方針の内容に共感できる。」
 - 項目 12 「教職員は、礼儀正しく、親切で親しみがもてる。」
 - 項目 26 「職業・社会自立を実現するための実践的な職業教育を進めている。」であった。(R2年度2項目)
- C「あまりあてはまらない」、D「まったくあてはまらない」といった否定的な回答割合が10%以上(やや高い)の項目数は、
 - 項目 4 「保護者(地域)が先生にいろいろなことを相談しやすい雰囲気である。」
 - 項目 8 「授業や行事等の参観機会を設けて、教育活動を積極的に公開している。」であった。(R2年度4項目)

- E「わからない」と回答した割合が15%以上の項目は、
 - 項目19「体罰の防止に努めている。」
 - 項目20「いじめや差別を許さず、厳しく対応している。」
 - 項目21「保護者や関係諸機関の意見が個別の教育支援計画に反映されている。」
 - 項目28「地域の交流事業や地域の施設・人材を積極的に活用し、地域との連携強化を進めている。」
 - 項目29「卒業後の生活に向け、社会生活上のトラブルやリスクから身を守る教育を行っている。」であった。(R2年度2項目)

3 考察と課題

- アンケートの回収率は、生徒、保護者・学校運営協議委員ともに92%であった。
(R2保護者・運営協議委員が93.1%、生徒が91.2%)
- 学校運営に対して、おおむね肯定的な評価であり、職業教育を柱にした本校の取組や教職員の指導に理解を得られている。
- コロナ禍における学校行事の中止や延期、実施方法の見直しにより、保護者や地域とのつながりが少なくなっているため、新しい生活様式における学校行事、情報提供や説明の機会を検討し、さらに学校改善を図りたい。
- 生徒のABが70%台、CDが10%以上の項目3・12・19については、引き続き日頃からの傾聴、心のアンケート実施や教育相談等生徒の気持ちを丁寧に受け止められるようにしていきたい。